

市政に関する一般質問

9月会議は17名の議員が質問

市長の政治姿勢について

土屋 裕彦 議員

問 今後4年間でどのような市政運営を目指していきますか。

答 私的理想とする、お年寄りから子どもまで全ての人が支え合いながら笑顔で安心して暮らせるまちの実現、そして未来に希望を持てるまちづくりを全力で目指してまいります。

通学路の安全対策について

森谷 宏 議員

問 下校時の児童生徒を守るための安全対策について伺います。

答 青色防犯パトロールカーや徒歩での巡回見守りを行っています。また、地域全体で子どもを見守り、犯罪や事故を未然に防ぐため、中学校区ごとに小中学校、保護者、ボランティア、警察、地域の方々と連携する安全ネットワークで開催する安全ネットワーク会議で情報を共有し、市全体での見守りを推進することで、安全な通学路環境の実現を図ります。

北初富駅周辺地区整備について

松澤 武人 議員

問 北初富駅前広場の概要について伺います。

答 車両の乗り入れを考慮し、光園寺付近の市道4号線から北総線及び新京成線の高架下を通る延長約140m、幅員6mの進入路と整備面積約1千800㎡の駅前広場を整備する予定です。

問 車両進入口における安全確保について、見解を伺います。



新市長のもと、今後の鎌ヶ谷市の教育充実への展望と「教職員の働き方改革の進捗状況」について

津久井 清氏 議員

問 最近、教育現場の長時間労働をブラック職場と考える教職員の働き方改革の進捗状況について伺います。

答 教職員の働き方改革の進捗状況について、市議会では開かれた議会を旨とし、本会議の模様を生中継及び録画中継により配信しています。市議会のホームページから、ご覧になれます。

問 今後の教職員の働き方改革の方向性について伺います。

答 教職員の働き方改革の方向性について、市議会では開かれた議会を旨とし、本会議の模様を生中継及び録画中継により配信しています。市議会のホームページから、ご覧になれます。

問 教職員の働き方改革の具体的な取り組みについて伺います。

答 教職員の働き方改革の具体的な取り組みについて、市議会では開かれた議会を旨とし、本会議の模様を生中継及び録画中継により配信しています。市議会のホームページから、ご覧になれます。

市長の政治姿勢について

小易 和彦 議員

問 市政運営に当たり、財政状況を見極め、中長期的な視点で将来を見据えたまちづくりを進める必要があり、市長としてどのように取り組んでいくのか、決意を伺います。

答 本市の財政状況は、健全化判断比率が国の定める早期健全化基準をクリアする一方で、経常収支比率及び財政調整基金残高は厳しい状況にあります。このような中、少子高齢化の進展による扶助費の増加や新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえると、今後のまちづくりに必要な財源を確保することが重要な課題と認識しています。持続可能な行政運営を堅持するため、全庁を挙げて新たな視点で行政改革に積極的に取り組み、財源確保に努めてまいります。その上で、市民福祉の向上と本市のさらなる発展を目指すことが私の責務と考えています。

インターネット議会中継を配信しています

市議会では開かれた議会を旨とし、本会議の模様を生中継及び録画中継により配信しています。市議会のホームページから、ご覧になれます。

○鎌ヶ谷市議会のホームページアドレス及びQRコードは1面に掲載しています。

子ども・子育て世帯に対する本市の新型コロナウイルス感染症予防の対応・対策について

河内 一朗 議員

問 ワクチン接種ができない12歳未満の子どもたちの感染予防策を伺います。

答 家庭内感染も多いことから、周りの大人たちのワクチン接種を推進し、また、学校においては、時差登校や短縮日課、放課後児童クラブ、保育園では、空気清浄機などの

問 子どもの新型コロナウイルスワクチン接種における課題と対策について

答 満12歳からの子どもへのワクチン接種の進め方について伺います。

問 12歳から15歳の方の接種会場は、8月末で集団接種会場を含め13会場となっており、接種を受けるには、保護者が同伴する必要があります。接種

「在宅療養・生活支援」の現状と課題について

松原 美子 議員

問 本市において、新型コロナウイルス感染症の在宅療養者数及び居住地等は把握していますか。

答 感染者からの聞き取り調査並びに公表は、機微情報(注)でもあることから、感染症の予防及び感染症の患者に対する

高齢者の見守り支援について

伊福 幸一 議員

問 通信機能が内蔵されたLED電球を、1人暮らしの高齢者のトイレや玄関に設置し、その点灯情報が、担当課や遠方の家族のパソコンやスマートフォンに送られることで、高齢者の見守り支援を行う「見守り電球」の導入について、本市の見解を伺います。

問 通信機能を備えた水道メーターを各家庭に設置し、専用のアプリを使うことで、水道の使用状況を見える化すると同時に高齢者の見守り支援にも活用できる「水道スマー

約枠の拡充等に努めています。保育士や教職員等に関しては9月から集団接種において接種枠を設け、希望される全ての方の1回目の接種を9月18日までに終了しています。なお、教職員のうち各学校に1人配置している養護教諭と事務職員26名については、市内外を問わず7月に接種を行い、8月に完了しています。

問 ワクチン接種した子どもたちの心のケアや容体の急な変化にどのように対応しますか。

答 心のケアについては、9月より全小中学校でカウンセラーを活用した相談体制を整備しました。容体の急な変化については、日頃通院している医療機関や自宅近くの医療機関に電話で相談することとしています。

問 感染者の情報については、現段階では個人情報保護の観点から、その提供が制限されていますが、今後、県から詳細な情報が提供されることありましたら、習志野保健所と連携を密にし、必要な支援を行うていきます。

問 「トメーター」の導入について、本市の見解を伺います。

答 本市の上水道の事業主体である千葉県に確認したところ、現在は、開発及び実証実験の段階で、研究、実証実験の結果を注視しているとのこと。



(注)機微情報：プライバシーに関する事など、特に取り扱いに配慮が必要な情報のことでセンシティブ情報ともいう。